



雄武町

No. 182 令和4年11月号

# 議会だより



## Contents

- ▶ 決算審査特別委員会 ————— P2-5
- ▶ 審議結果（7月臨時会） ————— P6-7
- ▶ 秋の定例会（9月定例会・行政報告） — P8
- ▶ 一般質問（5名） ————— P9-13
- ▶ 審議結果（9月定例会） ————— P14-15
- ▶ 道内視察レポート（委員会報告） — P16
- ▶ その他採決結果・賛否の公表 ————— P17
- ▶ 議会日誌・あとがき ————— P18

越冬に向けて栄養をたくわえるリス（幌内）

# 決算審査特別委員会 令和3年度 決算認定

9月議会において令和3年度決算審査特別委員会が設置され、各会計について審議を行い、すべての会計の決算については原案のとおり認定されました。  
決算に対する委員会からの意見は次のとおりです。

## 雄武地域バイオガス導入検討事業について

令和3年度にバイオマス産業都市認定を受け、着実にバイオガスプラント施設整備に向けて事業を進めてきたが、バイオマスを取り巻く社会情勢の変化とコロナ禍による供給網の混乱、ウクライナ情勢による混乱から端を発する物価高により、酪農畜産現場は大きな負担を強いられている。特に乳価の据え置き、畜産物価格の下落が進む中で、配合飼料価格の高騰が大きな負担となっており、酪農家の経営は厳しい状況になっていることは理解しているが、現時点で参画を予定している酪農家との調整を行いながら、バイオガス事業が頓挫しないよう、鋭意努力されたい。

## 公共施設の利用促進について

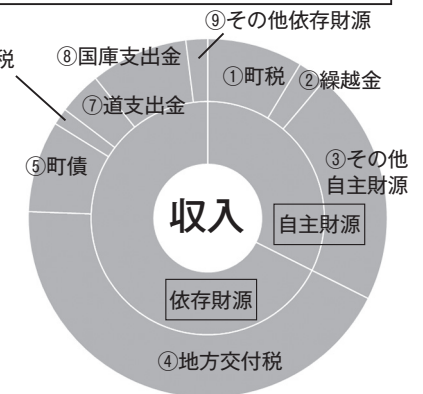
コロナ禍の影響もあり、公共施設の利用頻度が大きく落ち込んでいる。利用促進に向け、使用料の減免見直しや各所管ごとに管理する施設において、個別に「長寿命化計画」が策定されているものと認識しているが、町民が利用しやすい施設に改修することも視野に入れながら、公共施設の利用促進に向けて検討されたい。

## 国保病院について

一般会計から多額の繰入金により病院運営を行っているが、国保病院は地域医療を推進する上で重要な機関であることから、町民が安心して気軽に受診できるような体制づくりに努められたい。

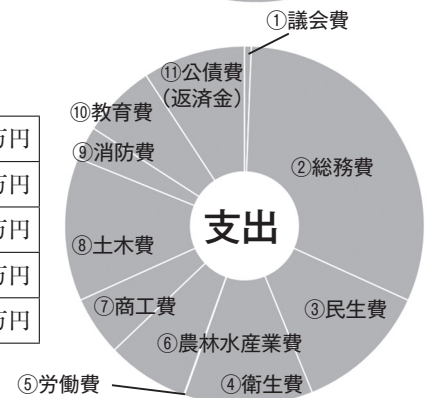
## 収入 (歳入) 73億1722万円

①町税	9%	6億3083万円	⑦道支出金	4%	2億8446万円
②繰越金	3%	1億8771万円	⑧国庫支出金	9%	6億4424万円
③その他自主財源	21%	15億5279万円	⑨その他依存財源	2%	1億4336万円
④地方交付税	43%	31億5941万円	自主財源	32%	23億7058万円
⑤町債	8%	6億378万円	依存財源	68%	49億4663万円
⑥地方消費税交付金	1%	1億1138万円			



## 支出 (歳出) 67億7466万円

①議会費	1%	4195万円	⑦商工費	5%	3億6316万円
②総務費	31%	21億1156万円	⑧土木費	13%	8億7458万円
③民生費	12%	8億1718万円	⑨消防費	3%	2億222万円
④衛生費	12%	7億8434万円	⑩教育費	7%	4億5078万円
⑤労働費	0%	416万円	⑪公債費	9%	6億2417万円
⑥農林水産業費	7%	5億55万円			



## 昨年度からの大きな増減

歳入…その他自主財源 (15%→21%)  
 ほたて稚貝緊急手当事業資金貸付金(償還金)収入(+2億円)  
 国庫支出金 (15%→9%)  
 特別定額給付金給付事業費補助金(-4億4290万円)  
 歳出…総務費 (29%→31%)  
 基金積立金等(+2億9451万円)  
 衛生費 (13%→12%)  
 下水道広域化推進総合事業(-5957万円)

## 収入-支出= 約5億円

そのうち1億9千万円(※)は基金に積み立て、約3億5千万円は翌年度への繰越金となります。

(※)地方財政法第7条の規定により、剰余金の2分の1を下らない金額を積み立てるもの。



※数値はすべて四捨五入

# 決算審査特別委員会に対する 質 疑 応 答

に繋いでいる。該当者数の経年変化を確認しながらフレイル対策に取り組みたい。

2

## 住民生活課

**Q佐藤** マイナンバーカードによって業務が自動化されるメリットは大きいですが、少人数の職員で対応する雄武町での費用対効果を考えた時の将来展望は。

**A住民生活課長** 来年度、検討事業を立ち上げる。令和7年度に全国自治体の基幹サービス標準化の動きがあるため、その流れを見ていく。

**Q佐藤** マイナカードに紐づけされる流れか。マイナポイントも非常に煩雑であるが、証明書のコンビニ交付など普及していくべきと考えるが、どう使っていくのか。使い道がないとメリットも考えられない。

**A住民生活課長** コンビニ対応は政令市から始まり現在は人口数万人規模の（紋別市など）でも対応を進めている。残されている小規模町村はシステム標準化で仕様等が変わってくる可能性もあるので、ベンダーからの提案も受けつつ導入金額を見ながら取り残されないように対応したい。

**Q遠藤** 廃木材の委託先は。前年比52万円増の理由は。

**A環境衛生係長** 委託先はイシイ機械リース。

**A住民生活課長** 金額増は契約単価の増による。

**Q遠藤** 他の業者と比較して妥当性のある契約単価なのか調査を行って欲しい。

**A住民生活課長** 今後、大きな単価上昇の提示があった場合、独自処理とのコスト比較を行ってから考えていきたい。

**提言 嶋村** ごみ減量ロードマップで示された大型ゴミ分別で廃木材が発生する。パークに粉碎して堆肥化に利用しては。町として処理施設にパーク粉碎機(400～500万円)を導入し「堆肥化パーク」を作ってみては。将来的な検討を。

**提言 長野** 紋別などは同じ単価になるよう契約を結んでいる。金をかけるなら嶋村議員の案が良いのではないかと。

←

1

## 総務課

**Q遠藤** 基本調査報酬は何人で対応したのか。

**A情報統計係** 55調査区を40人で対応。調査員が15人不足。複数の調査区を掛け持ちしている調査員がいる。

## 財務企画課

**Q嶋村** 返礼品の内訳は。

**A財務企画課長補佐** トップ5は全て帆立。①帆立1.8kg、②帆立BCフレーク2kg、③帆立Aフレーク、④帆立Bフレーク、⑤帆立1kg。

**Q柳原** ふるさと応援寄附金、3億2900万円。純利益は。

**A財務企画課長補佐** 寄付額と歳出額の差は1億5926万4424円。

**Q遠藤** ふるさと納税の使い道について詳細を知りたい。

**A財務企画課長** 下記のとおり。

	ふるさと応援寄附金 繰入事業名	決算額（うち繰入額）
企 画	ふるさと発信CI推進事業 (印刷製本費)	330,000円 (300,000円)
	障がい者等地域生活支援事業(福祉分) (雄武町地域活動支援センター補助金)	3,300,000円 (3,000,000円)
福 祉	子ども・子育て支援事業 (すくすく赤ちゃん応援助成・19人)	230,000円 (207,000円)
産 業	観光PR事業 (観光特別番組制作負担金)	1,000,000円 (500,000円)
建 設	公園等施設遊具修繕事業 (公園等施設遊具修繕工事)	1,265,000円 (1,203,000円)
教 育	学校環境整備事業〔小学校分〕 (雄武小学校周辺整備工事)	6,820,000円 (5,000,000円)
	学校環境整備事業〔中学校分〕 (雄武中学校体育館改修工事)	3,300,000円 (3,000,000円)
	学校図書整備事業〔小学校分〕 (図書購入・454冊)	1,481,700円 (1,481,000円)
	学校図書整備事業〔中学校分〕 (図書購入・306冊)	581,790円 (581,000円)
	スクールバス更新事業 (スクールバス購入)	23,485,000円 (3,000,000円)
	学校給食子育て支援事業 (学校給食費助成金)	13,746,750円 (13,746,000円)

## 地域包括支援センター

**Q遠藤** フレイル（加齢に伴って心身の衰えた状態）対策について。

**A介護予防係主査** フレイル対策は家庭訪問等で該当者を把握し、通所型サービスC（運動教室）

←

4

かっているはず。メスを入れたこと自体がおかしい。介護報酬を下げるわけにはいかない。

**A 福祉給付課長** 社協と協議して、平成 30 年度からの 3 年間のみ増額して 3500 万円とし、令和 3 年度からの 3 年間は 2800 万円とした。

**Q 柳原** これからは補正だけではなく見積もりを取るべき。

**A 福祉給付課長** 町が負担すべき施設の修繕料については補正対応としている。今後も厳しい状況であるため、令和 4 年度以降の指定管理料を改めて話し合い、必要があれば予算措置を行う。

**産業振興課**

**Q 嶋村** バイオマス委託、地下水源 84 万 8 千円。一時ストップという町長答弁があったが、町として 7~8 割進んだのか。地下水の調査結果は。

**A 産業振興課長補佐** バイオマス事業については見直しを検討している。所管調査で FIT 買取価格が 39 円から 35 円へと変更が見込まれる。北海道電力の系統状況を確認しながら考えていきたい。また地下水はある程度の水が出ることを確認している。

**Q 嶋村** 担い手育成 200 万円。興部町に研修牧場が建ち 3 年が経過してるが、何名の育成がなされたのか。農場は経営がかなり厳しくなってきた。経営もタイトであり、情報を共有しては。

**A 産業振興課長補佐** 研修牧場については生産抑制により牛乳が絞れず淘汰する結果となり、少し苦しい状況。研修生については雄武 1 人、興部 1 人が町内で研修中。短期は来ているが長期は来っていない。計画より乳量が減っていることから対応を図っていく。

**Q 佐藤** 中山間施設がほとんど利用されていない。平成 14 年に施行された設置条例にも地場産物のことを謳っている。もう少し上手く利用できないか。

**A 産業振興課長** あまり当初の予定どおりに使われていないが、イベントやそば、よさこいで定期的に使っている。広い調理スペースなど有効利用を考えていきたい。

**Q 柳原** 豊かな森づくり事業として森林組合に金を投入しているが、町のビジョンが見えない。

3

**Q 遠藤** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い道は。

**A 財務企画課長** 主な使い道は下記のとおり。

新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金 充当事業名	決算額 (うち充当額)
行政手続き押印見直し業務委託料	2,970,000 円 (2,000,000 円)
雄武消防庁舎ネットワーク環境整備工事 ほか 1 件	1,958,000 円 (1,700,000 円)
公共ネットワーク機器購入	7,536,100 円 (1,700,000 円)
ホテル日の出岬雇用維持・経営安定化 対策補助金	23,000,000 円 (8,000,000 円)
高齢者等冬の生活支援助成	6,788,000 円 (2,402,000 円)
介護サービス事業特別会計繰出金	84,962,000 円 (40,000,000 円)
子育て応援事業新生児特別給付金	1,800,000 円 (1,200,000 円)
子育て世帯への臨時特別給付金	58,600,000 円 (3,000,000 円)
雄武町医療機関等支援金	1,700,000 円 (1,700,000 円)
消耗品費 (感染防止衣、二酸化炭素濃度計)	5,541,300 円 (1,400,000 円)
雄武消防庁舎内部改修工事ほか 1 件	19,833,000 円 (19,500,000 円)
家庭用電気器具等購入ほか 6 件	10,020,945 円 (5,605,000 円)
商工振興特別事業補助金 (商工会・プレミアム付商品券)	11,966,571 円 (5,000,000 円)
新型コロナウイルス感染症対策「地域 元気応援券」事業補助金	35,443,000 円 (33,800,000 円)
新型コロナウイルス感染症対策旅客 運送業緊急経営支援事業補助金	1,500,000 円 (1,500,000 円)
新型コロナウイルス感染症対策旅客 運送業経営支援事業補助金	1,500,000 円 (1,500,000 円)
空気清浄機購入 (各小学校分)	3,440,833 円 (1,000,000 円)

**福祉給付課**

**Q 柳原** 特別養護老人ホーム指定管理料が前年度よりも減額となっているが、額は妥当か。

**A 福祉給付課長** 平成 17 年 4 月から始まった指定管理は、平成 24 年度に介護報酬のマイナス改定などがあり収支状況が悪化し、平成 25 年度には資金繰りが厳しくなり、町への支援要請があったことから、以後、指定管理料を支出している。金額については毎回社協と協議し、収支計画書等の関連書類や将来ビジョンを確認したうえで決定している。施設ではコンサルを入れて経営改善を行っているが、依然として厳しい経営が続いている。

**Q 柳原** コンサルが入っているならお金がか

**A 商工観光係長** アンケート結果にもつながるが、自然環境や景色、岬から見える海、植生、夜空など、箱物ではなく自然環境を生かしながら進めていきたい。旧日の出岬センターについては管財係で解体に向けて準備を進めている。改修は難しいことから、町の財政状況とも相談しながら進めていきたい。

#### 建設課

**Q 遠藤** 元沢木、新町、ポンオコツナイ川、職員住宅、測量の受注先はどこか。

**A 土木管理係長** 全て石井測量設計が受注している。

**Q 遠藤** 約 1870 万円が全て石井測量設計、どう考えるか。

**A 建設課長** 指名委員会で選定を行い、その中で業者を指名している。指名した業者で入札を行った結果である。

**Q 遠藤** 昨年の決算書と比較しても石井測量が多い。

**A 土木管理係長** その年によって事業量が変わるため、比較は難しい。今回は石井測量受注となった。

#### 教育委員会

**Q 遠藤** 廃校となった豊丘小学校の有効活用について意見が出ていた。進捗状況は。

**A 教育振興課長** 各学校優先で備品の再配置換えを行い、それから教育委員会内部、役場庁舎で使える物を選んでいる。教職員住宅については、教員数に対して足りている状況になく、年次計画で内部改修を行っている関係もあり、教育委員会で管理している。校舎の有効活用は内部協議を行ってから進めたい。

#### 国保病院

**Q 嶋村** 患者が会計して処方箋を受け取る際に連絡体制はあるか。新型コロナワクチン接種時に解熱剤を処方してもらったが、調剤薬局へ行くと 16 時 30 分を過ぎており閉まっていたとの話を聞いた。

**A 病院事務長** 処方箋を事前に FAX で送って薬を取りに行く体制。調剤薬局は 16 時 30 分まで。事務員が声がけを行っている。

計画も外注では。森林は一朝一夕にできるものではない。民有林と町有林を入れた町のビジョンを作らなければならないのでは。

**A 副町長** 森林整備計画は道、管内、町にそれぞれあり、5 年間の経営計画を作るようになっている。整備方針も個々の計画に基づいている。ただし森林を取り巻く情勢は変わってくるため、その時々で更新が必要。町としては計画に含まれない不在地主を森林環境譲与税で掘り起こしたいと考えている。

**Q 柳原** 計画があるのは知っているが、形骸化していないか。売り払いが減っている中、担い手育成の必要性があるのでは。

**A 副町長** 売り払い金額は当然に増減するもので、それだけで衰退しているという議論にはならない。森林整備の計画であり、売上ベースで考える計画ではない。

**Q 柳原** 理解するが、森林整備が盛んだった町が衰退しているのは現実。その理由を探さずに計画しているのを危惧している。衰退の原因は何か。昨年の決算委員会での計画がしっかり行われていればこんな質問をしない。森林組合にお任せで不安がある。

**A 副町長** 原因ははっきりしている。過去は道有林に非常に依存していた。面積の 7 割が道有林。加えて全国的な外材の自由化が原因。国の造林計画で材が出てくる時期、輸入自由化等はあるが一般民有林から材は出ている。路網整備など全体的なフォローアップが必要と考える。植えた資源を促進し、切った後の植林までをサイクル化する。

**Q 佐藤** 水産係長として海の事をどう考えているか。

**A 水産係長** 海的环境は変わってきている。大時化でホタテが壊滅的な被害を受けたが、この 1~2 年で安定してきた。それ以外の分野で変わってきている。海遊魚種も変化。海を守るため森林や漁港などのハード面を守る必要があり、それが漁業者を守る。今年は安定して取り組めるようにするための準備の年だと思う。力を蓄える準備も必要。基金条例の創設は将来に向けての投資。漁協や漁業者が力を入れたい分野への支援を行っていきたい。

**Q 佐藤** 日の出岬の開発はどこまで来ているのか。整備が早急に必要では。

↙

## 緊急質問（国保病院常勤内科医師について）

国保病院常勤内科医師退職について嶋村議員から緊急質問の申し出がありました。これに対し、採決に入る直前に柳原議員から「緊急質問をしない」旨の動議が提出されました。動議に対する討論をお届けします。

# 7月 臨時会 審議結果

### 【動議】（注1）動議発議者：柳原 賛成：遠藤

緊急質問の要件、例えば天変地変、騒擾、その他重要な事項に該当するとは思えないため緊急質問をしない動議を提出する。 ⇒ 動議否決（賛成4、反対4、議長否決）

○ 緊急質問に **賛成** ○

✕ 緊急質問に **反対** ✕

#### ◆ 嶋村

住民の命を守るべき町立の国保病院で大変な事態が進行しており、町にとっては緊急事態である（平岡医師の退職、署名活動の開始、資料提出がされなかったこと）。町の姿勢に疑問。

#### ◆ 遠藤

500名の嘆願書について議長に訊ねたら紹介議員が書かれていなかったと聞いた。現在嘆願書が宙に浮いている状態。そういう状態では嘆願活動をされた町民の方に対して失礼ではないか。

#### ◆ 佐藤

署名活動の動きは知っていた。不慣れな町民がそこまでして署名活動をしている。議会を動かし、町を動かし、雄武町の国保病院をより良いものにしようという町民の強い気持ちをきちんと議場に語ることを希望する。

#### ◆ 金田

国保病院の心配事で不安になる気持ちは理解するが、本当に国保病院のことを考えていけばもっと議論をして前に進めていきたい。

#### ◆ 溝田

町民の命を守るという緊急性、これが一番と考えれば緊急質問に値するもの。

#### ◆ 長野

議会にはルールがある。答弁に対する矛盾、平岡医師に対する署名活動、国保病院への告発案件と挙げているが、6月一般質問で納得いかなかったから再度質問をさせると臨時議会で皆が質問しては議会崩壊である。緊急事態には至っていない。辞めていく医師が一議員に向かって告げたことを一点にして質問させるとするのは議会として不公平。集まったという嘆願書を精査もせず質疑をさせるとのも議会への暴挙。

#### ◆ 福原

請願書が出て病院の問題をどうにかしてほしいという町民からの動きは、議員活動の中で初めてのこと。反対する必要は全くない。署名を見てない人も見た人もいるが、こういった動きを議会として大事にしたい。

どちらの応援をするものではないが、ルールを守らず緊急質問を行うことに対しては賛成できない。

※提出者・柳原議員は討論には参加できません

【緊急質問採決（注2）】 賛成4（佐藤、溝田、嶋村、福原） 反対4（柳原、金田、遠藤、長野） → 議長裁決 → **可決**

注1：緊急質問に対する動議は本来許可されないが、議事運営の誤りがあった。

注2：みなし採決。動議に対する結果が賛成4、反対4の同数となり、議長裁決によって【緊急質問に対する反対動議が否決】されたことから【緊急質問を行うことに対する可決】とみなしたもの。



■ 嶋村 義文 議員

## 平岡医師を雇い止めたのか

□ 町長

### 雇い止めと訂正し、おわびをしたい

**問** 平岡医師の再任を求める嘆願書が、500人を超える署名が集まっている件について町長はどのようにお考えか。

**町長** 皆さんの思いを重く受け止めている。

**問** 平岡医師の退職に関する資料提出に答えなかった理由は。

**総務課長** 個人情報保護条例は「生存する個人に関する情報」であることから、亡くなった方の情報である前回は公表した。

**問** 職務権限規則が提出されなかった理由は。

**総務課長** 規則が制定されていないことから、個人情報云々ではなく、無いということ。

**問** 平岡医師を雇い止めたのか。

**町長** 私の思い違いであり、雇い止めと訂正しおわびをしたい。雇い止めは、本人から契約を6か月と

いったものを1か月か2か月にして欲しいと、本人からの申出で契約を決定している。常識に考えても契約満了ということになる。

**問** 3月7日に北海道厚生局の麻薬取締部が国保病院に査察に入った、これは事実か。

**病院事務長** 7日ではなくて3月8日、9日で調査に来られている。内容については調査のためお答えできない。

**問** 病院関係者が平岡医師のカルテIDを無断で用い

て薬剤を自己処方していた。完全な法律違反だが町長は把握しているか。

**町長** 把握している。厚生局の結果を待って町でも検討していきたい。

**問** このような行為をする医師を置いておく感覚は町民が許さない。調査の間ずっと居続けるのか。

**町長** 医師対策をいろいろ行っている。結果がいつ出るかわからないが様々な手立てをしながら進めていきたい。

**問** 2月の時点で告発状が出され、その時点で病院管理者の法律違反行為は分かっていたはず。それなのになぜ平岡医師の退職に手をつけたのか。このまま行くと常勤医師不在になる。

なぜあの時点で平岡医師を残して、問題のある医師を排除する考えにならなかったのか。

**町長** 平岡医師を説得はしたが聞き入れてもらえなかった。すぐどうこうということは当然、当時はできなかった。

**問** 平岡医師再任の請願が出された際には常任委員会で調査を取り進めていくことになる。町として誠意をもって対応していただきたいが、保証していただけるか。

**町長** 町としても可能な限り協力していきたい。

# 秋の定例会報告

行政報告 (石井町長)

◎懸案事項における要望活動について

▼西紋別地区総合開発期成会

▼一般国道238号線(雄武町上沢木〜川尻) 防雪対策事業の促進について ほか13件

高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会

▼旭川・紋別自動車道の事業推進 ほか3件

オホーツク圏活性化期成会

▼地方交付税総額の安定的な確保 ほか36件

◎新型コロナウイルス感染症対策について

・雄武町での新規感染者数(北海道発表)

令和4年6月26日〜9月10日 計110人

・対策本部会議開催状況 計6回開催

雄武町の

新型コロナワクチン接種率

(令和4年8月31日現在)

区分	65歳以上	12~64歳	合計
3回目接種者	97.0%	83.4%	88.7%
区分	60歳以上	※オミクロン株対応ワクチンは10月半ばより接種開始予定	
4回目接種者	64.6%		

## 行政報告等にかかる質疑応答

Q 柳原 新型コロナワクチンの追加接種(4回目接種)は、前回接種から5か月以上経過後に接種可能とされているが、7か月経過後に接種しているケースを聞く。接種間隔が伸びている原因は。

A 新型コロナウイルス対策室長 医療機関において、週あたりの接種日や1日あたりの接種可能人数に上限があり、時期によっては接種間隔が7か月程度空くケースもある。国が指定する期間までに接種を完了したい。

提言 柳原 接種者の平準化を行うべき。また副反応の少ないノバックスを広域で接種可能とする仕組みづくりを検討されたい。

Q 柳原 ワクチン接種4回目の通知漏れがあったと聞く。理由は。

A 新型コロナウイルス対策室長 60歳以上の方への4回目接種については、コールセンターの混雑緩和のため、町が接種予定日の4週間前に案内を出しているため、接種の順番が後ろのほうになる人については案内文書が届くのが遅くなったという話で、通知漏れではない。案内文書の発送についてのアナウンスが不十分だった。接種は予定どおり進んでおり、現在未接種の290人については10月第2週までに完了予定。

Q 柳原 外国人登録を除く人口は4000人を切った。対策についてどう考えるか。

A 町長 移住や定住促進のためお試し暮らし住宅を活用したいが、コロナ禍で使われていない。難しい課題だが取り組んでいきたい。

Q 嶋村 認知症カフェの内訳は。

A 地域包括支援センター副所長 レクリエーションや体操、他者との交流。認知症に対する理解を深める活動を行っている。

9月13~16日

(4日間)の内容

- 行政報告(町長)
- 行政事務報告(副町長)
- 教育行政報告(教育長)
- 一般質問(5名)
- ※休会中決算審査特別委員会
- 決算認定9件

- 報告2件
- 各会計補正予算5件
- 条例改正3件
- 工事請負契約変更2件
- その他議案4件
- 意見案1件
- 請願1件

Q 遠藤 7月13日高校存続対策協議会の内容は。

A 教育振興課長 入学生の状況及び推計、存続対策の内容、配置計画のほか、校長から教育活動等の説明、高校の魅力づくりについて出席者による意見交換を行った。

Q 遠藤 高校の在り方については町民の関心も高い。資料はHP等に掲載してほしい。議会全体でも取り組みたい。

A 教育長 当協議会は町長の諮問機関でも附属団体でもなく、あくまでも民間団体。しかし会長は町長であるため、公表するかは前向きに考える必要があると思うので、協議会開催時に協議する。

Q 遠藤 中小企業振興助成金申請者並びに創業支援助成金の内訳は。

A 産業振興課長補佐 中小企業振興助成金については製造業(真空包装機の設置)、宿舍の改築。創業支援助成金については喫茶店の新規。

Q 嶋村 ふるさと応援寄附金の額が興部町に抜かれた。新たなサイトの利用が始まったが反応は。

A 財務企画課長 利用者数No.3の「ふるなび」を利用開始した。1か月で133件1561千円となっている。

Q 遠藤 自主防災組織の設置自治会は。

A 住民生活課長 既存の新沢木自治会に加え、中雄武自治会と錦町自治会が設置。



庁舎建て替え等の検討について

—— 役場庁舎も築50年になる。耐震工事や増築等は行っているが建て替えを検討する時期ではないか。

税財管理課長 維持管理、修繕を行うことでトータルコストの縮減平準化に取り組み、長寿命化を図ることを基本としており、現時点で検討していない。

—— 緊急防災減災事業債（以下、緊防債という）が令和7年度まで延長されている。非常に有利な公債であるが、この緊防債を運用して庁舎建設を検討したことはあるか。

税財管理課長 確かに有利な充当率100%、地方税の措置率70%という内容であるが、建て替えを考えずに使い続ける

前提であり、検討はしていない。

—— 行政の答弁を聞いている

とできない理由ばかり言っているが、どうすればできるかを考えて頂きたい。何年後かには絶対建て替えが必要になる。長寿命化で現在の庁舎を何年持たせるつもりか。また、町長、副町長はなぜこれについて検討もしないのか。

副町長 耐震化工事を他の町村より早く実施したため、この緊防債は耐震化を行った庁舎には該当しない。長寿命化の推進について早い時期から検討して耐震化を実施した。

—— もう1点についてお答えいただけない。長寿命化でこの建物をあと何年使うおつもりか。

税財管理課長 現時点であと何年とは明言できない。令和

5年度に個別の長寿命化計画を策定予定であり、問題点を整理し適正管理に努める。

—— 庁舎建て替えは賛否両論あると思う。緊防債以外にも公共施設等適正管理事業債がある。津別町はこれらを活用し庁舎を建設した。この公債は令和8年度まで延長されている。昔の建物で50年持ったわけであり、今、普通の住宅でも100年住宅といわれている。先を見る施策を行政はできないのか。町長にお答え願いたい。

町長 建て替えの検討はしていないが、長寿命化の検討をして、来年度長寿命化計画を作成する予定である。他の公共施設の中で、学校等、早急にやらなければならないものもあり、何が優先か考えている。私の考えに庁舎というのは現時点ではない。

—— 公共施設等総合管理計画の中のマネージメントに関する基本的な考え方で、「将来世代に過度な負担を強いることがないよう、財政構造の変化、公共施設等への町民ニーズの量や質の変化を捉え、必要となる施設を将来にわたり維持する」と書いている。今までの答弁を聞くと、行政の得意技の先送りにしか聞こえない。将来世代に過度な負担を強いらせていることにならないか。町民ニーズはバリアフリーに配慮したユニバーサルデザインを導入し、利用しやすい庁舎を望んでいると思うが。

税財管理課長 現在の庁舎は老朽化による雨漏り、バリアフリーへの対応不足などの問題がある。しかし、公共施設等適正管理推進事業債は耐震化未実施の市町村の本庁舎建替事業が対象の起債であり、雄武町の役場庁舎は耐震改修工事を行っており、該当しないことになる。

※この他、雄武高校存続対策協議会結果について、第三セクター雄武町観光開発株式会社の運営について、SDGs 17の目標のひとつ森林整備事業についてを質問していますので、議事録をご確認いただけます。

## 緊急防災減災事業債を活用しての庁舎建設を検討したか

建て替えを考えずに使い続ける前提

検討してない（税財管理課長）



やなぎはら ひろゆき  
**柳原 浩之** 議員

## 平岡医師の行動に疑問、今後の病院運営どう考える

### 平岡医師を正職にすると約束した事実はない 今後に向けて医師確保に全力を尽くす（町長）

500名が署名した嘆願書は町も議会も承知していない  
緊急質問は議会ルール違反

—— 前回の臨時議会での緊急

質問は議事の進め方を間違えました。緊急質問は討論を用いず出席議員の半数以上の者が緊急性を認めた場合とあります。緊急質問の要旨は3点

でしたが、もう1点は500名を超える平岡医師復帰を求める嘆願書でした。この嘆願書を町長は受け取りましたか。

町長 町には嘆願書は出てきておりません。

—— 町も議会も500名の方々が署名をされた嘆願書は承知されておりません。議事運営の不手際により、北海道新聞に緊急質問をする事を伝え平岡医師の一方的な情報を元に緊急質問がなされましたが議会ルール違反です。そこで院長から平岡医師の診療実態と記された文章が議会に届きましたか。

町長 この文章は見えています。たが、町長もこの文章を見ましたか。

町長 この文章は見えています。

—— そこで案の定、平岡医師から議会に反論文が届きました。町長は見ましたか。

町長 この文章も見えています。

—— 議会が一方的な情報を元に劇場型の議会にしていくことは非常に残念だと思えます。今回頂いた両方の文章ですが、平岡医師の勤務状況や医療知識も無いのに議会が議論できると思いません。緊急質問の中に平岡医師の雇用

に触れ、雇い止め云々との事ですが、当初、平岡医師との雇用契約はどのような契約ですか。

病院事務長 令和3年3月8日から令和4年3月7日まで1年間の雇用契約です。

—— 平岡医師の意見書に「雄武町長との1年契約で問題が無ければ正職にすると約束を交わし、労働契約をしました」とあり、また町長と事務長の

会話を録音したのは「彼らが言行不一致の行動を取り、信頼関係が成り立たないと判断したから」とあります。また、

緊急質問の中に告発状の件を知って、平岡医師の退職になぜ手をつけたのか、平岡医師を残してその問題のある者を排除するという考えにならなかったのか、この質疑は問題のある者は排除せよと、著しく相手の名誉を傷つけるものと思われま

す。町も平岡医師本人も1年契約と認識して雇用契約を結んでいるのですが「石井町長から正職の常勤医師にする約束を反故にされ」とありますが、これは事実ですか。

町長 平岡医師を正職にする

と約束した事実はありません。



ながの 誠 議員

—— 再度確認しますが、平岡医師の雇用契約は1年間契約ですよね。

町長 1年契約です。

—— 町長は病院全体の意見を元に平岡医師の退職を判断されたのか。

町長 院長と何回か話をし、最終的に私が判断をいたしました。

—— 平岡医師を募る患者さん

もたくさんおられますが、私は平岡医師の行動に疑問を持っております。3月のワクワクン接種の拒否とその場での

金銭の事が話されていますが、人間性が疑われる言動と

思います。また着任時から町長、事務長、院長などと打合せを記録、会話の録音など、私には理解できないのと、このような事は職場での人間関係が破綻しているのではないかと思います。平岡医師の退職についてはプライバシーの事もあり全てを話す事にはならないと理解しますが、町長の報告が不適切だという事と平岡医師に間違ったメッセージを与えた事は残念で、今回も医師、看護師、患者の方々の思いに至っていないと思えます。今後の病院運営についての町長の考えは。

町長 今後に向けて北海道地域医療振興財団、東京の北海道東京事務所に出向いて医師確保に全力を尽くしており、引き続き取り組んでまいります。

雄武町民と雄武町立国保病院について

— 国保病院の設置目的及び経営の基本方針は。

町長 町民の健康保持に必要な医療の提供、経済性を発揮し町民福祉を増進するよう運営すると定めています。

— 経営の基本方針が町民に充分行き渡っていると考えているか。

町長 満足されていないというように認識しています。

— 平成29年に国保病院新改革プランが策定され、32年目標数値で、入院患者18名/日、外来患者115名/日と定めているが、9月行政報告では入院患者8・4人、外来患者59・2名と約半分の実績だが。

病院事務長 点検評価は現在手掛けていますが、目標数値には届いていない現状です。

— 一般会計の繰入額は4億5千万円にのぼり、病院設置者・管理者の責任の所在はどのくらい捉えればよいか。

町長 経営責任の最終責任は私にあります。このままでは国保病院が立ち行かなくなるのではと非常に懸念しているところです。

— 病院通院バスの乗車問題についてですが、6月議会での答弁では「バス導入補助要件があるので民間クリニック通院者は乗せられない」との答弁であったが、厚生労働省に照会し以下の回答をいただきました。「患者輸送車の補助事業処分制限は5年で、雄武町のケースは交付から5年が経過して使用目的に制限がかららない」とうですか。

町長 整理すべき点多々あるのですが、運行に向けて検討してまいります。

— 平岡医師からの個人情報開示同意書をいただいた結果、資料請求を提示していた

果、資料請求を提示していたができませんでした。離職票を見ますと「被雇用者からの雇用の更新または延長の申し出はなかった」と記載されているが、これは本人の意思を確認して記入したのか。

病院事務長 私は実際に本人から契約の更新を希望していたという申し出を受けておりませんので、事実に沿って作成し決裁しています。

— 本人は勤める意志はあったが病院長の決裁がおりないので雇用延長できない、6月議会では雇止めはないと答弁しながら臨時会では一転して雇止めを認める。本人が勤務を継続する意思がなかったというふうには持っていないか。無理があるのでは。

町長 基本的には雇用期間で満了ということでは認識しております。

— 8月1日に議長他2名の議員に「国保病院の元常勤内

科医師の診療実態等に関する意見具申」の文章が病院関係者から出されました。内容は12項目にわたる平岡医師の診療ミス、医学知見不足、職務怠慢についてです。自ら告発を受けたことには全く触れていません。早速、平岡医師より抗弁書が私他3名の議員あてに届き、公開しても良いとのことでした。関係者にもお渡ししました。平岡医師いわく大半が医学的な根拠に乏しく、悪意を持って私の名誉を棄損することを目的に書かれていると述べています。最後に3月25日のワクチン接種業務について平岡医師の名誉のために申し上げます。病院長はワクチン接種問診を断る行為は職務遂行違反に当たると意見具申の中で述べています。①

そもそも当日のワクチン接種の担当は桂巻医師であった②もことから平岡医師をワクチン業務から外すのが病院長の業務方針で、ワクチンの打ち合わせ会議にも呼ばれていない③当日、連絡もなく突然休暇を取り札幌へ④平岡医師ひとりしかいない状況、入院患者家族への病状説明・外来診療・救急対応で断る。以上が事実経過です。

病院事務長 連絡ミスはあったものの、院長不在は平岡医師に配布した当直表に記載しており、知っていたはずですが。また、院内の状況からワクチン接種対応は可能と判断した上で依頼しており、少し事実と違う、と感じます。

### 町長の雇い止めに対する答弁は一転、答弁に無理がある

基本的に雇用期間で満了ということだけで認識している（町長）



しまむら 鳴村 よしふみ 義文 議員

# 常勤医師の確保にどのような行動を起こしたか

## 紹介依頼、情報交換、医師募集サイトへの登録指示

一日も早く後任医師が見つかるよう取り組む（町長）

### 常勤医師の確保について

——平岡医師が5月に退職され、町民の一部の人より戻って来てほしいと請願が来ています。平岡医師は他の病院に勤務され、戻ると思われませんが、町長は町民にこたえるべき行動を起こしておりますか。また常勤医師の確保に対してどのような行動を起こしたか。

町長 後任の医師確保に向けて、道外在住の医師で北海道内の医療機関へ転職を考えている医師の相談窓口となっており、北海道東京事務所へ出向き、病院の現状説明と医師からの問い合わせがあった場合の紹介依頼、医師確保に向けた情報交換を行ってきました。また私の知り合いを通じて雄武町に興味を持っている医師を招き、病院契約や懇談など情報を得られるよう全国自治体病院協議会や道地域振

興財団、大手医師紹介会社などの医師募集サイトへの登録を指示している。一日も早い後任の医師が見つかるよう取り組みを進めている。

——町長は病院関係のことで院長と打ち合わせをしているのか。

町長 コロナの関係で院長も忙しいが、会うことはあつて打ち合わせをしております。

——町長の公約の常勤医師2名体制を早く実現させ、町民が安心して暮らせる町づくりをお願いしたい。

### 町内の循環バスの運行について

——我が町も高齢化が進み、病院・買い物・温泉・役場等に向くのが、沢木地区・幌内、魚田地区は交通が不便であり、町内の活性化のためにも循環バスが必要だと考えますが、町長のお考えはどうでしょうか。

町長 町民も交通の面では不安や心配されている方が多くおり、今後高齢者の運転免許の返納も増加してくると思われる、交通手段を確保していくのが本町の重要な課題だと思っております。町域公共交通活性化協議会などを設置して議論をしていきたい。コミュニティバス、デマンドバス等、交通手段の導入について、色々な関係機関を含めながら協議会を設置していきたい。

### 【循環バスの種類】

#### ■コミュニティバス

明確な定義はなく「交通空白地域・不便地域の解消等を図るために市町村等が主体的に計画し運行するもの」と言われます。

#### ■デマンドバス

予約があった時のみ運行します。運行方式、運行ダイヤ、発着地の自由度の組み合わせ等により、多様な運行形態が存在します。

#### ◎導入の利点

路線バスの通らない場所にも移動手段ができるため、利便性が向上します。

#### ▲導入の問題点

路線バスと競合すると「客の取り合い」になってしまい、路線バスが減便・廃止になる恐れがあります。

また1人当たりの輸送コストが割高になったり、市町村の負担が増えたり、デマンドバスだと「予約という仕組みが馴染まない」場合もあります。



かねだ ひさお  
金田 壽夫 議員

## 文教地区基本構想策定事業の進捗状況について

令和4年3月の定例会で確認した文教地区基本構想策定事業の現時点での進捗状況は。

教育長 文教地区における教育施設整備については、現在雄武中学校長、雄武小学校長、教育相談員及び教育長のメンバーで作業に取りかかっている。基本構想についてはこの方針に基づき策定作業に取りかかることになる。第六期雄武町総合計画後期計画において、令和5、6年度において事業実施を予定する予定。

## 小中高での生理用品無料配布についてのアンケート実施について

町内の学校で生理用品無料配布のニーズがあるのではないか。教育委員会ではその必要性和児童生徒に対してアンケートを取ることをどう考えているか。

教育長 生理の貧困が社会問題化し、生理用品を配置する学校が増えている認識はあるが、本町の子どもの様子からは、そのような状況は見受けられない。第二次成長期で心身ともに過敏な時期のため、アンケートの実施には十分な配慮が必要。また、中学校では生徒からの生理用品に関する要望相談はないため現時点では考えていない。

教育長の答弁は全て想定内で、それをSNSで発信すると炎上する。子ども達が訴えていないからといって必要性がないというのは、大人の論理、学校側の論理だ。「やらない」より「やってみて」という声があるかを把握し、町や教育行政が動くことが大切だ。そのニーズを確認し、考えていたものと違う結果が出れば、教職員を含めた議論につなげていく。これに對しての考えは。

教育長 SNSに発信したら

炎上するぞは、私も想定内。調べて分かってきている。ただ、教育的見地から自分の命は自分で守る強い子どもになってほしい。時期尚早という言葉が正しいかどうか分からないが、少し様子を見たい。

## 持続可能な地域社会の実現について

生きたデータは町で毎年行っている雄武町基本調査からコーホート変化率を使ったデータ分析だ。その分析を行い最終的に地域人口1%取り戻し理論へとつなげていく。これによって、8割程度の総人口維持、高齢化率の低下、小中学生の維持が実現できる。具体的な数字を得ることで目標が明確になり、より具体的な政策へと進んでいく。コーホート分析を用いて我が町の将来像を描いていく予定はあるか。

財務企画課長 コーホート分析は特段意識をしてこなかった。今後それらを実施し、より効果的な政策を

り効果的な政策を執行していきたい。

雄武町内に入ったお金がどう使われるかにはほとんど着目されていない。観光や物販売などでお金を稼いでも、すぐに地域から出ていってしまつたら、漏れバケツに懸念に水を注いでいるようなもので地域は豊かにならない。大切なのはお金を域内できかに循環させ経済発展を生むかに尽きる。石井町長が生産しているイチゴを食べたが、おいしくて、いいなと感じた。それを町内の経済循環に役立てようという思いがあつてのことか。

町長 将来、町の産業にできないのか、そして私の夢でもあるが、ホテルの温泉排水を利用して、高齢者や障がい者の雇用につなげたい。

それは医療パスの公約よりよほど現実的だし、夢もある。現実的に町内経済の循環に寄与できるビジネスだと思う。今後、町内の経済規模や域内生産額の調査を行う予定はあるか。

財務企画課長 詳細な分析はしていないので、今後経済循環の調査も必要になってくる。

### 【コーホート変化率法】

あるコーホート（同時出生集団）の一定期間における人口の変化率に着目し、その変化率が対象地域の年齢別人口変化の特徴であり、将来にわたって維持されるものと仮定して、将来人口を算出する方法です。

## コーホート分析を用いた我が町の将来像を描いていく予定は

### 今後実施、

より効果的な政策を執行していく（財務企画課長）



さとう やすし  
佐藤 寧 議員

# 9月 定例会 審議結果

## 一般会計補正予算（第2号）【主な内容】

・庁舎別館物干し竿用枠設置工事	50万円
・新型コロナワクチン接種業務委託料	441万8千円
・飼料高騰対策事業補助金	2200万円
・町内小工事	220万円
・中学校ネットワーク環境整備委託料	300万円

## 一般会計補正予算に関する質疑応答

**Q**柳原 オミクロン株対応ワクチンの切り替え時期がはっきりしない。オミクロン株が流行しており、対応ワクチンを打ちたいという心理が働く。対応ワクチンが届けば現在のワクチンを破棄してでも対応ワクチンを接種させるのか。

**A**新型コロナウイルス対策室長 ファイザー社のオミクロン株対応ワクチンが来週入荷予定。9月26日の週から4回目未接種の方を対象に新ワクチンを接種する予定。

**Q**柳原 接種に使用するワクチン変更についての町民への周知方法は。未接種者に対するノババックスワクチンを使った接種機会提供の考え方は。

**A**新型コロナウイルス対策室長 ワクチン変更について、案内済みの方へは電話連絡を行い、これから案内を行う方へは封筒に文書を同封する。ノババックスワクチンを使用した初回接種の実施については、オミクロン株対応ワクチンの接種スケジュールが非常にタイトであり、かなり難しい。

**提言**柳原 ノババックスについては接種したい人がいるかもしれない。検討を。

※その後の調整により、国保病院において11/17と12/8でノババックスワクチンを使用した初回接種を実施することになりました。

**Q**遠藤 庁舎別館物干し設置の詳細は。

**A**健康推進課長 乳幼児健診などで床に敷く布団を洗濯する際の干し場がないことから、階段吹き抜け部分に枠を設置して干し場を作るもの。

**Q**遠藤 冬であっても乾燥できるのか。

**A**健康推進課長 設置個所は吹き抜けであり、また、職員の執務スペースとの間に遮られるものはないため暖房の効果もある。冬は湿度が低く、乾燥すると思われる。

**Q**遠藤 町内小工事は、沢木の崖に対するものか。今後の方向性は。

**A**建設課長 沢木の落石についての土嚢設置と、その他町道の復旧箇所に対応する。

沢木の落石に対する調査費（地質調査等）は次年度以降に計上予定。

**Q**遠藤 次年度以降ではなく早急に対応する必要があるのではないかと。町長の考えを。

**A**建設課長 崩壊箇所でも小規模の崩壊が起きたとしても大型土嚢でポケットが作られており、有効に施工されている。

また、斜面の表面を確認したところ、大きな崩落はないと認識している。

**Q**遠藤 1度目は小さな石だったが2度目は大きな石が落ちており、次に落ちてこないとは信じられない。もしも、また落石が起これば大変なことになる。

地域住民も仕事の人も通る道路であり、早急に対応されたい。

**A**建設課長 2度目は埋め込まれていた石が落ちた。後は細かい石が落ちる。ネットと土嚢で対応可能。

**Q**遠藤 一番初めの時の小さい石の段階できちんと調査をしていれば、2メートル幅近い石が落ちてくることも事前に避けられたかもしれない。

**A**建設課長 その後大きい石が落ちたのは事実。来年度調査をしたいと思っている。

**Q佐藤** 中学校はネットワークが不安定で一斉接続での遅延等があることへの対応か。今までの積算金額は。小学校は未計上だが安定しているのか。セッション数と帯域に対する安定構築のための整備か。

**A教育振興課長** 平成29年にWi-Fi環境の整備を開始しており、令和元年に回線スピードアップ、令和3年に学習用回線を別回線にする工事を行っている。金額についての資料はない。

**A教育振興課長補佐** 小学校については通信業者が入っているが、まず中学校を対応した後の対応とする。また沢木小学校についてはネットワークの構造が違うため調査中。中学校の構築はアクセスポイント不足によるもの、フロアスイッチ多重接続による遅延が考えられる。またLAN配線をCat5からCat6へ変更する。さらなる検証が必要だが、おおむねの環境改善につながると思われる。

## 平岡医師の再任を求める請願

平岡医師は、昨年3月8日から雄武町国保病院に着任され、私共雄武町民を診察し治療していただきました。本年5月に退職されるまでの1年2カ月の間、平岡医師の丁寧な対応と的確な治療のおかげで、多くの町民が国保病院での診療を受けながら雄武町で暮らすことへの安心感を持つことができました。

平岡医師が退職したことは誠に残念でなりません、同じ想いを持つ多くの町民がいる現実をどうか重く受け止めて頂きますよう署名を添えて請願致します。

### 【請願項目】

平岡裕樹医師再任に向けた行動を要請する

- ・提出者 葛西 礼子 その他7名
- ・紹介議員 嶋村 義文

※総務文教常任委員会に付託され、閉会中の継続審査となりました。

**Q柳原** 飼料高騰対策、約1割の補助と聞くが付け焼き刃的に見える。貸付け等含めた対策は考えているのか。

**A産業振興課長** 国は1頭あたり7200円の補填、次に道の高騰対策もあれば充実した支援が行えると考える。現時点でできることを行い、これからも積極的な支援を考えていく。

**Q遠藤** 受益者農家の戸数は。

**A産業振興課長** 配合飼料を購入している50戸が対象。北オホーツク農協の補助金と合わせた額を11月以降に交付予定。

## 職員の育児休業等に関する条例の一部改正

- ・非常勤職員の育児休業の取得条件の緩和等について所要の改正を行うもの。



**Q佐藤** 今までの非常勤職員が会計年度任用職員となるのか。

**A総務課長** 会計年度任用職員にはフルタイムとパートタイムを含む。

**Q佐藤** 対象の職員にわかりやすい説明や給付金に関する説明はしているのか。

**A総務課長** 研修会が努力規定されており、7月27日「働き方改革研修」を行っている。給付金を取得できる旨の説明も当然行っており、非常勤職員も参加している。制度周知や内容を積極的に説明している。

**Q佐藤** 会計年度任用職員の力は必要。採用前から説明していく予定はあるか。

**A総務課長** 考えていなかった。採用前からの説明については検討していきたい。



# 道内視察レポート

## 産業厚生常任委員会

▼日程 令和4年6月21日(火)  
▼視察項目 紋別市 マルカイチ水産株式会社  
工場(ホタテ貝自動生むき機)・西  
紋別地区広域ごみ処理センター施  
設について

### 「マルカイチ水産株式会社」

#### ▼施設の現況

マルカイチ水産株式会社は、今年で創業50周年を迎え、資本金2000万円、売上高は130億円(令和4年2月期実績)、従業員は200名(パート含む)である。

#### ▼ホタテ貝自動生むき機の作業状況

他の地域に先駆けてホタテ貝の自動生むき機「オートシエラーMHS-5000」を導入している。この機械は北海道では湧別が先行して数年前から導入したことから、同水産会社でも1台を試験的に使い、昨年3台の入れ替えを行った。1台1億円で付帯設

備を含め、3台で合計10億円の費用がかかっている。

ホタテ貝自動生むき機は、センサーで回転寿司のようにベルトコンベアで原料の貝が回り、古い原貝を使い切ったから新しい原貝を入れるような方式になっており、稼働率が3倍に上がった。昨年、コロナ禍において外国人技能実習生が来られなかったときは、同機械の導入により対応できた。

ホタテ貝の自動生むき機は、EUの基準に適合するよう床洗浄のため160センチ程度の高さに設置されており、1台に8個の貝が置けるようになっていて、そのラインには6名の作業員がいた。自動的に殻・ミミ・ウロ・貝柱を分離させて貝柱だけが回収できる仕組みになっている。6名の作業員の反対側には4名がおり、機械でうまくいかなかった貝を人の手でむいている。作業員は2時間に1回休憩をして、人の入れ替えを行っている。自動生むき機は貝の適合サイズが8センチから11センチとなっており、自動生むき機に投入する前段で8センチ以下の貝は選別されている。この機械の導入により、業務効率化が図られた。

課題の1つ目としては、作業員の教育と機械のメンテナンス及び管理方法がある。2つ目は、現在、この機械は砂貝やフジツボがついた貝には対応できないため加工手段が原料に左右される。よって、今後は幅広い原料に対応できる技術革新が求められよう。

#### ◎視察所感

雄武の水産加工場においても、町の人口減少等により、作業員の高齢化、働き手の確保が課題になっている。ホタテ貝の漁獲量も年々上昇する中で、今後更なる業務効率化が求められることが予想される。現在のところ、ホタテ貝の自動生むき機は砂貝に対応しないという課題があるが、今後の技術革新を注視していきたい。



ホタテ貝自動生むき機・動画



### 「西紋別地区広域ごみ処理センター」

#### ▼事業概要

施設の稼働…2013年1月

#### 設置責任者…

西紋別地区環境衛生施設組合

#### 運転管理…

(株)西紋別環境サービス

#### 施設の概要…

焼却施設26トン/日(13t/16h/日×2炉)処理  
現在は17h/日運転している。  
破砕選別施設5t/5h/日

西紋別地区広域ごみ処理センターでは構成市町村の費用負担を少しでも減らすため、焼却処理施設は、炉の大きさを変えず24時間連続運転にしたいと考えている。現在は17名で業務を行っており、24時間連続運転のためには5名の人員追加が必要となるが、増員には至っていない。中間処理施設及び破砕選別機は1年でも長く使うことが費用負担の軽減につながる。

#### ◎視察所感

西紋地区広域ごみ処理センターに廃棄物の一部を搬出することが決まった当初、議会は町側から雄武町の最終処分場を一年でも長く持たせるため、かさばる燃やせないごみを搬出すると町側から説明を受けた。しかし搬出が始まったから燃やせないごみに含まれる柔らかいプラスチック紙が破砕機の軸に絡まり故障する恐れがあるため、現場での

分別に多くの時間と労力がかかり、他町の廃棄物の受け入れに影響を与えてしまうことから現在は燃やせるごみを搬出している。

燃やせないごみが受け付けられない背景には、燃やせないごみに含まれる資源ごみのプラスチック類の量が多いことがある。各家庭で適切に分類を進めることで資源ごみとして再利用を進めていくことが雄武町全体のごみの減量化につながる。ひいては最終処分場の延命につながる。町民の方の理解を得ながら啓発強化を行い、廃棄物の分別の精度を高めて資源ごみの循環を促進させていく必要があると考える。





# その他の採決結果 ※一部抜粋

7 月 臨 時	<b>一般会計補正予算（専決処分・第3号）</b> 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金の増など。（+ 2033万9千円）	可決 （異議なし）
	<b>一般会計補正予算（第4号）</b> 家計応援事業補助金の増など。（+ 5190万円）	可決 （異議なし）
	<b>人権擁護委員の推薦に係る意見</b> （池慶二、松嶋恵美子・任期：令和4年10月1日～令和7年9月30日） 現委員が任期満了となることから、引き続き再推薦するもの。	適任とする （異議なし）
9 月 定 例	<b>令和3年度健全化判断比率</b> 法律に基づき報告するもの。実質公債費比率8.1（実質赤字額、連結実質赤字額及び将来負担が発生しないためそれぞれの比率は算定されなかった）	報 告
	<b>令和3年度資金不足比率</b> 法律に基づき報告するもの。（簡易水道事業特別会計、公共下水道事情特別会計、国民健康保険病院事業いずれの会計も資金不足が発生していなため、比率は算定されなかった）	報 告
	<b>国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）</b> 保険給付費等交付金（普通交付税）返還金の増など。（+ 128万4千円）	可決 （異議なし）
	<b>介護保険事業特別会計補正予算（第2号）</b> 介護給付費交付金返還金の増など。（+ 397万7千円）	可決 （異議なし）
	<b>介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）</b> 特別養護老人ホーム等指定管理料の増。（+ 286万5千円）	可決 （異議なし）
	<b>後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）</b> 郵便料の増など。（+ 35万4千円）	可決 （異議なし）
	<b>工事請負契約締結変更</b> （西紋別地区環境衛生センター解体工事（その1）） 契約金額の変更。（8910万円→6853万円、日東・藤共特定建設工事共同企業体）	可決 （異議なし）
	<b>工事請負契約締結変更</b> （西紋別地区環境衛生センター解体工事（その2）） 契約金額の変更。（5676万円→9912万1千円、天内工業㈱）	可決 （異議なし）
	<b>新たに生じた土地の確認・町の字の区域の変更</b> 幌内漁港区域内における公有水面埋め立て工事の竣工が認可されたことによるもの。	可決 （異議なし）
	<b>雄武町教育委員会委員の任命</b> （河島仁・任期：令和4年10月1日～令和8年9月30日） 任期満了となる教育委員会委員について引き続き任命しようとするもの。	同意 （異議なし）
<b>人権擁護委員の推薦に係る意見</b> （山岡良佳治・任期：令和5年4月1日～令和8年3月31日） 現委員が任期満了となることから、引き続き再推薦するもの。	適任とする （異議なし）	
<b>国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書</b> （提出：福原議員 賛成：溝田議員）	可決 （異議なし）	

## 賛否が分かれた議案

### 議員ごとの賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ■…討論

―…議長 ※議長は賛否同数の場合のみ裁決を行います

議 案 名	議 員 名	佐藤 寧	柳 原 浩之	金 田 壽夫	遠 藤 友宇子	溝 田 昌志	嶋 村 義文	福 原 峯雄	長 野 誠	橋 詰 啓史	審 議 結 果
【7月・第5回臨時】緊急質問をしない旨の動議		×	○	○	○	×	×	×	○	×	否決

# 議 会 日 誌

6月	
9～10日	第4回定例会開催
11日	雄武小学校運動会出席、議長ほか1名
12日	遠軽駐屯地創立71周年記念行事（遠軽町）出席、議長
14～15日	北海道町村議会議長会第73回定期総会出席（札幌市）、議長
16日	第7回議会活性化調査特別委員会開催
19日	第2師団創立72周年及び旭川駐屯地開設70周年記念行事（旭川市）出席、議長
21日	産業厚生常任委員会道内視察調査（紋別市マルカイチ水産株式会社、西紋別地区広域ごみ処理センター）
22～24日	西紋別地区総合開発期成会要望活動（札幌市）出席、議長
7月	
1日	第9回広報特別委員会開催
6～7日	町村議会議員研修会（札幌市）出席、副議長ほか6名
8日	林-ツノ圏活性化期成会令和4年度建設経済専門委員会（北見市）出席、議長
11日	第10回広報特別委員会開催
13日	雄武高校存続対策協議会出席、議長ほか1名
14日	雄武町戦没者追悼式式典委員会出席、議長
15日	第8回議会活性化調査特別委員会開催
//	第5回臨時会開催
16日	令和4年度雄武神社宵宮祭出席、議長
17日	令和4年度雄武神社例大祭出席、議長
16～17日	北海道における自衛隊の体制強化を求める総決起大会2022（千歳市）出席、柳原議員

20日	第11回広報特別委員会開催
20～23日	西紋別地区総合開発期成会及び林-ツノ圏活性化期成会夏季中央要望（東京都）出席、議長
21日	衆議院議員 武部新代議士を囲む意見交換会（東京都）出席、議長
27日	第9回議会活性化調査特別委員会開催
29日	インターネット議会で継先進地視察（津別町）、佐藤議会活性化調査特別委員長ほか2名
8月	
3～4日	北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会令和4年度定期総会（札幌市）出席、副議長
8日	第12回広報特別委員会開催
12日	沼田町議会改革特別委員会視察（沼田町）、柳原議会活性化調査特別副委員長ほか2名
18日	第10回議会活性化調査特別委員会開催
19日	興部町議会産業建設常任委員会所管事務調査受入、議長
26日	雄武町戦没者追悼式出席、議長ほか6名
28日	遠軽町芸術文化交流フナギ開館記念コンサート（遠軽町）出席、議長
31日	第11回議会活性化調査特別委員会開催
9月	
1日	地方財政についての諸問題に関する勉強会（遠軽町）出席、嶋村議員ほか2名
5日	全員協議会開催
7日	議会運営委員会開催
9～10日	鈴木直道政経ヒナ（札幌市）出席、議長

## 編集あとがき

秋も一段と深まり、朝夕は冷え込む時期になりました。

10月5日に観光介助士初級講座がホテル日の出岬で開催されました。いま日本の全人口の3割は高齢者または障がいを持つ方と聞きました。この講座は北海道観光振興機構の推進事業として、一般社団法人日本UD協会や滝上町観光協会等のお力添えをいただき実施に至った経緯があります。町内の参加者は20名を超え、町外からも遠くは札幌からの参加者もおられました。これまで1000人を超える受講者のうち高校生の参加は雄武高校ボランティア部の生徒が初めてだそうです。初日は椅子を使った介助方法を学び、翌日は貸切展望風呂で実際に椅子を使ったデモンストラーションが行われました。

2年前に大規模改修が行われてから利用者の幅が増えて、使いやすくなった結果550組を超える入浴があるそうです。

みなさん温泉で温まりませんか。

議会広報特別委員会

委員 遠藤 友宇子